

**第56回石見地区新人中学校柔道大会**  
**兼第19回‘01全国中学校柔道大会浜田大会記念大会開催要項**

1. 主催 島根県西地区柔道連盟
2. 主管 浜田市柔道連盟・浜田市中学校体育連盟柔道専門部
3. 後援 浜田市中学校体育連盟・浜田市教育委員会・浜田市体育協会
4. 期日 令和2年12月12日(土)  
8:00 開場  
8:00～9:00 受付  
8:10～9:10 非公式計量  
9:10～9:40 公式計量(再計量は団体終了から20分間)  
9:50～ 監督会議(役員集合8:50)  
10:05～ 開始式・服装点検  
10:20～ 競技開始
5. 会場 島根県立石見武道館(浜田市黒川町3735 TEL0855-23-7170)
6. 参加資格 (1) 島根県中体連に加盟している大田市以西の中学校に在籍し、保護者が参加同意書に記載されている内容に同意し、出場に関して学校長が承知している中学校1・2年生であること。  
(2) 6ヶ月経過後の柔道修行経験があり、試合に十分耐えられる技能と体力を有していること。  
(3) 参加者の該当地区教育委員会が県内での練習試合や大会参加の許可を出していること。
7. 参加制限  
(1) 団体の部  
① 男子団体戦(参加制限はしない。)  
・1チーム選手7名以内とし、監督(当該校の校長・教員)・コーチ(当該校に常勤する県費及び市町村費による教職員又は、当該校の校長が認めたもの・・・注1)マネージャー各1名とする。  
・チーム編成は、最も体重の重い者を「大将」とし、以下順次体重順とする。試合ごとに選手の位置を変えることはできない。・・・注2  
② 女子団体(参加制限はしない。)  
・1チーム選手5名以内とし、監督(当該校の校長・教員)・コーチ(当該校に常勤する県費及び市町村費による教職員又は、当該校の校長が認めたもの・・・注1)マネージャー各1名とする。  
・チーム編成は、最も体重の重い者を「大将」とし、以下順次体重順とする。試合ごとに選手の位置を変えることはできない。・・・注2  
(2) 個人の部  
① 男子の部  
下記の8階級とする。(参加人数は制限しない。)  
・50kg級(50kg以下)                      ・55kg級(50kg超～55kg以下)                      ・60kg級(55kg超～60kg以下)  
・66kg級(60kg超～66kg以下)                      ・73kg級(66kg超～73kg以下)                      ・81kg級(73kg超～81kg以下)  
・90kg級(81kg超～90kg以下)                      ・90kg超級(90kg超～)  
② 女子の部  
下記の8階級とする。(参加人数は制限しない。)  
・40kg級(40kg以下)                      ・44kg級(40kg超～44kg以下)                      ・48kg級(44kg超～48kg以下)  
・52kg級(48kg超～52kg以下)                      ・57kg級(52kg超～57kg以下)                      ・63kg級(57kg超～63kg以下)  
・70kg級(63kg超～70kg以下)                      ・70kg超級(70kg超～)

(3) 脳震盪対応について

選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

- ①大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場できない。(至急専門医の精査を受けること。)
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染の疑い、もしくは感染が判明した選手については、大会に出場できない場合もある。

(5) 感染症対応について

①選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

- ・大会2週間以前に新型コロナウイルス感染症に感染した者、濃厚接触者に該当する疑いのある者は、PCR検査を受け、ドクターから出場の許可を得ること。
- ・大会2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した疑いのある者は、当該大会に出場できない。
- ・大会開催前2週間分の健康観察チェックシートと健康チェック確認表を受付時に提出すること。  
また、大会開催前2週間で健康状態の悪い状況があった場合には、大会に参加することができない。
- ・大会終了後2週間以内に感染症の疑いが発症した場合、当該選手の指導者は大会事務局へ速やかに状況を報告し、書面により報告書を提出すること。

②大会中の感染症対策は以下のとおりとする。

- ・会場に入場できるのは競技役員・監督・登録選手のみとする。※無観客での開催とする。
- ・会場入口で検温を実施する。
- ・役員・待機選手はマスクを着用する。
- ・試合中に大きな声で会話、応援等をしない。応援は拍手のみとする。
- ・こまめに手洗いうがいを実施する。
- ・会場にアルコール消毒を設置し、こまめに換気する。

※会場にて感染予防措置を遵守できない参加者は、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり途中退場を求めたりすることがある。

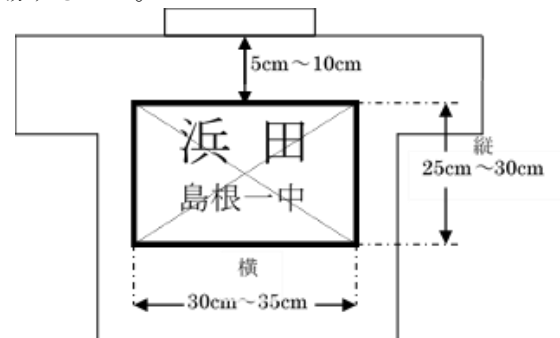
8. 競技規則

(1) 国際柔道連盟審判規定(2017-2020)・国内における「少年大会特別規定」による。

※(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿・帯)を着用すること。

- (2) 試合中に、いわゆる「絞め落ち」となった選手は、その後の一連の試合に出場できない。
- (3) 有段者は黒帯を用いること。(西・中地区柔道連盟から推薦を受けた者を含む)
- (4) 柔道衣に規定のゼッケン(学校名、名字入り)を縫い付けて出場すること。

- ①布地は白地(晒、太綾)
- ②サイズは横30~35cm、縦25~30cm
  - ・名字(姓)は上側 2/3
  - ・学校名は下側 1/3
- ③書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書体でも可)  
男子は黒色、女子は濃い赤色。
- ④縫い付け場所は襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。



- (5) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。

※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。具体的には以下のとおり。

- ①色は白、半袖、丸首であること。
- ②製造業者マークは、最大20cm<sup>2</sup>のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に製造業者マークが見えてはならない。
- ③正式な国家、NOC、もしくはIJF加盟連盟のエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。  
大きさは最大100cm<sup>2</sup>とする。
- ④所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。  
大きさは最大100cm<sup>2</sup>とする。
- ⑤いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

(6) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

(7) 計量について

①公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。

②非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。

③公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。

④公式計量の服装は、男子下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。

なお、下着の着用は認めるが、包帯サポーター等の着用は一切認めない。

⑤9：10から9：40の間に計量を行う。

⑥団体の計量終了後に個人の計量を行う。

・団体戦の計量時に個人の階級の計量に合格していれば再度計量する必要はない。

・団体戦の計量で個人の計量に合格していない選手は、個人の計量を受けることができる。

・別室計量が必要な選手は計量担当者に申し出ること。

⑦団体戦終了後にも個人の計量を行う。ただし、朝の個人計量で不合格の選手は計量できない。

## 9. 競技方法

(1) [団体戦] ①男女ともトーナメント戦とする。（参加チーム数によっては、リーグ戦とすることもある。）

②試合時間は3分間とする。

③勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」または「僅差（『指導』の差2）」とする。

その内容に満たない場合は「引き分け」とする。

④リーグ戦の順位決定は、次の方法によって決定する。

「対戦ごとに勝ち数負け数及び内容差をもって(勝・分・負)を決定する。」

ア. チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ. アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。（総勝ち数）

ウ. イにおいて同等の場合は、内容による。（一本、技あり）

エ. ウにおいて同等の場合は、負け数による。

オ. エにおいて同等の場合は、その内容による。

カ. オにおいて同等の場合は、代表戦（1名）による。

⑤トーナメント戦の勝敗は、次の方法によって決定する。

ア. チーム間における勝ち数による。

イ. アにおいて同等の場合は、内容による。

ウ. イにおいて同等の場合は、代表戦（1名）による。

⑥代表戦について

1)代表戦は、監督が任意に選出した選手同士で行う。

2)判定基準は団体戦と同様とし、3分間の本戦を行う。試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、または指導差が2以上ない場合は、旗判定により勝敗を決する。

(2) [個人戦] ①各階級ともトーナメント戦（参加人数によっては、リーグ戦とすることもある）を行う。

②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は行わない。

③勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」または「僅差（『指導』の差2）」とする。

得点差がない場合は旗判定とする。

④リーグ戦の場合の順位決定は、次の方法によって決定する。

「各試合とも旗判定により必ず勝敗を決定する。」

ア. 勝ち負けの率による。

イ. アにおいて同等の場合は、勝ちの内容による。

ウ. イにおいて同等の場合は、負けの内容による。

エ. ウにおいて同等の場合は、直接対戦の結果による。

オ. ウにおいて、3名以上が同等の場合は、抽選によるトーナメント戦で再試合を行う。

10. 表彰 団体の部、個人の部各階級とも3位まで表彰する。

11. 大会負担金 団体1チーム 5,000円、団体登録メンバー以外の個人1名 400円

12. 申し込み 申込書を 11月27日(金) までに下記のメールアドレスへ送信し、正式申込書は郵送する。

〒697-1322  
浜田市日脚町572  
浜田市立第三中学校 吾郷 直樹 宛  
  
メール：[n-ago@hamada.ed.jp](mailto:n-ago@hamada.ed.jp)  
  
TEL 0855-27-1150  
FAX 0855-27-1151

13. 個人情報について

個人情報のうち、大会運営上必要がある名前、学校名、学年、階級（個人戦の体重区分）、段位については公開する。また、報道機関に記録の提供を求められた場合は提供する。

14. 抽選会 主管で行います。

15. その他

- ・ 県中体連専門部内規事項と審判規定を熟読の上ご参加ください。
- ・ 監督の先生には審判を委嘱しますのでご協力ください。
- ・ 参加チームは、各団体の責任において保険に加入してください。  
また、主催者で保険に加入します。保険金額は下記のとおりです。  

死亡・後遺障害	130万円	入院1日	1500円	通院	1000円
---------	-------	------	-------	----	-------
- ・ 前年度優勝校及び優勝者のある学校は優勝旗、トロフィーを持ってきてください。
- ・ 以下のものを大会当日に受付に必ず提出してください。  
○健康観察チェックシート（全員） ○健康チェック確認表（全員） ○参加承諾書（選手）  
**※提出できない場合は大会に参加できませんので、必ず用意してください。**  
**※本大会について、すべて県大会に準じます。**

注1・・・校長が県中体連外部コーチの規定に準じ認められた者については、所定の様式により、あらかじめ県中体連柔道専門部へ届け出ておくこと。（団体戦・個人戦を含め各校1名以内とする。）

注2・・・チームの選手数が不足しているときも、体重の最も重い者を大将とし、体重順に以下詰めていくこと。試合途中で不足したときも同様である。

※新型コロナウイルス感染症への状況変化があった場合について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う大会開催の可否については、感染の発生状況や政府の対策の動向等を踏まえ、中止する場合がある。

**前年度優勝チームおよび個人優勝者**

《団体》	男子：大田市立第一中学校	女子：浜田市立第三中学校
《個人》		
「男子」	50kg級 白須伊緒理（三 隅）	55kg級 内藤 陽（大田一）
	60kg級 島林 奏和（大田一）	66kg級 鍋田倫太郎（大田西）
	73kg級 福間 太一（大田一）	81kg級 長野 快音（浜田三）
	90kg級 ( )	90kg 超級 ( )
「女子」	40kg級 千代湖胡菜（浜田三）	44kg級 江木 杏紫（浜田三）
	48kg級 竹野内愛美（浜田三）	52kg級 佐々木そら（三 隅）
	57kg級 福田 啓乃（浜田三）	63kg級 久保田桃香（江 津）
	70kg級 ( )	70kg 超級 ( )

※大会当日に優勝トロフィーを持参してください。